

# 社会福祉 しずおか



**特集**

## 社会参加で地域づくり・健康づくり ～ 壮年熟期活躍プロジェクト～

### 福祉のまちづくり絵画コンクール優秀作品を紹介します (平成28年度)

**テーマ** やさしさでつながる福祉(しあわせ)のまち



「いまこころをいじらなければ  
こころはあそびをたすけてくれる絵です。」



★静岡県経営者協会会長賞

浜松市立東小学校(1年)

殿村 桃花

「みんなで栄えるしあわせなまち」  
おじさん、おばあさん、子どもみんなが仲良く元気に生活している、私の  
住んでいる浜松市の様子をかきました。



★静岡県商工会連合会長賞

浜松市立浜名小学校(3年)

竹内 結名

※学校名、学年は平成28年度のものです。

編集発行



### 社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

〒420-8670 静岡市葵区駿府町1番70号 電話.054-254-5248 FAX.054-251-7508 <http://www.shizuoka-wel.jp>  
E-mail [spcsw@shizuoka-wel.jp](mailto:spcsw@shizuoka-wel.jp)

※本機関紙は皆さまの会費を充当し発行しております。

# 社会参加で地域づくり・健康づくり ～壮年熟期活躍プロジェクト～

## ふじのくに型人生区分

老年	<b>百寿者 100歳以上</b>	100歳の長寿を寿(ことほ)く世代
	<b>長老 88～99歳</b>	米寿(88歳)から白寿(99歳)まで
	<b>中老 81～87歳</b>	傘寿後から米寿前まで
壮年	<b>初老 77～80歳</b>	喜寿(77歳)から傘寿(80歳)まで
	<b>壮年熟期 66～76歳</b>	様々なことに熟達し、社会で元気に活躍する世代
	<b>壮年盛期 56～65歳</b>	経験を積み、社会で活躍する世代(中期)
	<b>壮年初期 46～55歳</b>	経験を積み、社会で活躍する世代(前期)

静岡県は全国トップクラスの健康長寿県であり、年齢を重ねてもお元気な方がたくさんいらっしゃる。ことから、一般的には高齢者と位置付けられるこの年齢の方々を、活躍盛りの「壮年熟期」※1と呼び、高齢者として支えられる側ではなく、社会を支える側として活躍する世代としています。

※1(平成27年度に静岡県が提唱した「ふじのくに型人生区分」の年齢区分のひとつで、66歳から76歳 左図)

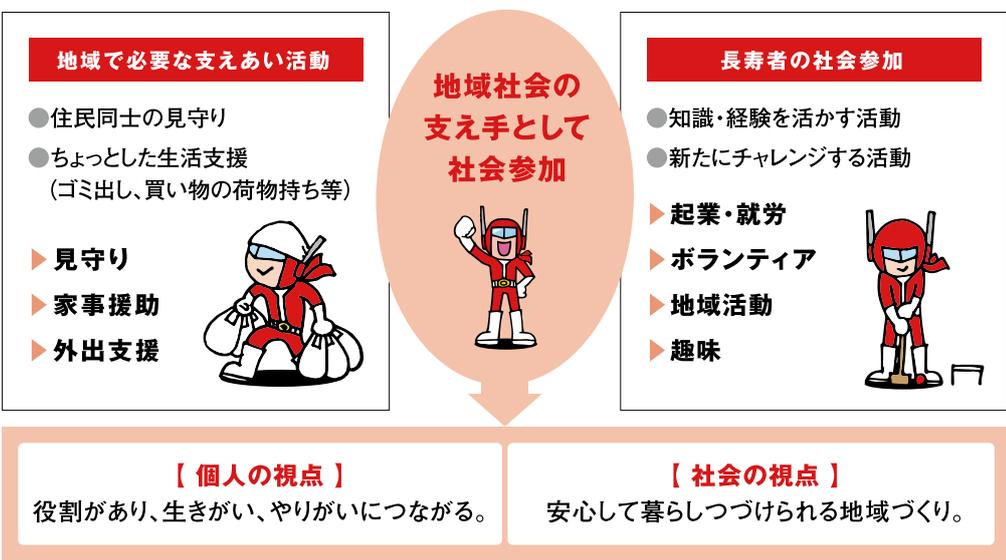
そして、その壮年熟期の方々がこれまで培った知識や経験を活かし、社会で元気に活躍することを応援するための事業が「ふじのくにに壮年熟期活躍プロジェクト」です。

このプロジェクトのねらいは、2つあります。

まずは、ご本人の介護予防、さらには健康寿命の延伸です。県では、運動、食生活、社会参加に着目した健康づくり、介護予防を進めています。一口に社会参加と言っても、就労、ボランティア、地域活動、趣味など、その方法は多様ですが、社会に出て、様々な方々と交流し、生きがいややりがいを持つことが、心身の健康増進につながります。

もう一つは、地域や社会の支え手を増やすことです。多くの地域では、自治会やお祭り会、奉仕活動などの「担い手」の確保に課題を抱えています。特に、一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯、さらには認知症高齢者が増加し、例えば、高いところの電球交換やお風呂掃除、布団カバーの洗濯など、日常生活にちょっとした手助けを必要とする高齢者も急速に増加しています。まだまだ元気で、

体力もある「壮年熟期」世代の方々に、こうした活動の担い手になっていただくことで、支えあいの地域づくりや活気のあるまちづくりにつながっていきます(左図)。



ふじのくに壮年熟期活躍プロジェクト

「ふじのくに壮年熟期活躍プロジェクト」は、2つの取組から成ります。1つは、「社会参加促進フェア」です。「社会参加促進フェア」では、社会参加の重要性を知り、そのきっかけをつくる講演会、同世代の方々の様々な活動の発表、様々な活動を行う団体等の紹介（ブース出展）を行い、県内の3から4地区で実施します。もう1つは、「講習・体験会」です。「講習・体験会」は、自分に合う社会参加の具体的な活動

の糸口を見つけ、継続的な活動につながるための知識や技術等を習得するものです（左図）。

社会参加促進フェア

昨年度は、9月から10月にかけて3会場で開催し、全体で約850人にご来場いただきました。御殿場会場、袋井会場では、落語家の三遊亭楽春さんを講師に「笑いの効果で健康&社会参加意欲の向上」について、磐田会場では、元アナウンサーの国井雅比古さんを講師に「地域でシニアライフを

楽しもう」についてご講演いただきました。また、実際に居場所の活動を実践している方や自治会の役員等から地域での活動についてご発表いただきました。

今年度は、社会参加促進フェアを拡充し、県内4会場で開催します（表）。去る7月22日（土）には、湖西市において、今年度の初回となる「社会参加促進フェアin湖西」を開催し、約550人にご来場いただきました。オープニングでは、小学生、80代の方、障害のある方が一緒になって、地元出身の歌手の歌に合わせて踊りを披露しました。講演会では、歌手のさとう宗幸さんを講師にお招きし、「二度とない人生だから」をテーマに、お話に加え、さとうさんのデビュー曲である「青葉城恋唄」など7曲をご披露いただきました。湖西市の子どもたちと一緒に歌った曲「虹を架けよう」（東日本大震災被災三県の復興支援ソング）では、客席から自然と拍手が起こり、会場が一体となって盛り上がりました。

今後も、9月から10月にかけて、島田市、藤枝市、静岡市で実施します。是非、お近くの会場に足を運んでください。※内容・お申込み方法等の詳細は、「ふじのくに壮年熟期活躍プロジェクト」のホームページで順次お知らせします。（ホームページアドレス：<http://www.soukatsu-pjt.com/>）

社会参加促進フェア

講演

社会参加の重要性を知る。

活動発表

同年代の方のさまざまな活動を知ること、自分がやりたい社会参加を見つける。

活動団体紹介  
(ブース出展)

さまざまな団体の活動をみることで、自分がやりたい社会参加の場を見つける。

講習・体験会

自分に合う「社会参加」の具体的な活動の糸口を見つけるための講習。

継続的な社会参加につながる各種活動の体験。

参加者からは、「今後、地域での活動に参加したい」、「居場所に足を運んでみます」などの感想が聞かれ、各会

また、フロアでは、民間事業所による体力測定や、地域活動を行う様々な団体等にご出展いただき、多くの参加者の社会参加を支援することができたと考えております。

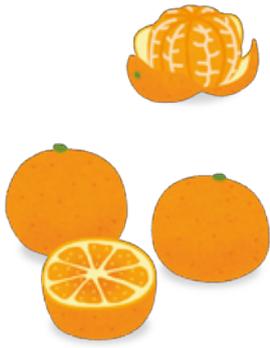
<表 平成29年度実施>

実施市町	湖西市	島田市	藤枝市	静岡市
開催日	7月22日(土)	10月8日(日)	9月7日(木)	10月21日(土)
場所	新居地域センター	プラザおおり	生涯学習センター	市民文化会館
来場者数	550人	450人	350人	360人
講演講師	さとう宗幸氏 (歌手)	八名信夫氏 (俳優)	堀尾正明氏 (フリーアナウンサー)	南雲吉則氏 (医者)
内容	① 講演:社会参加意欲を向上させるための講演 ② 活動発表:多様な社会参加活動の事例紹介 ③ ブース出展:社会参加の場を見つけるためのブース出展			

## 講習・体験会

昨年度は、居場所を始めとした地域活動の基礎知識についての講義やグループワーク等を内容とする「基礎講習コース」、農家での季節就農体験や居場所での運営補助体験やそば打ち体験などの「体験会コース」を実施し、基礎講習には107人、体験会には55人にご参加いただきました。

講習会に参加した方からは、「何かをやるうとする気持ち、意欲が湧いてきた。まずは一歩が踏み出せるようにこれから活動していきたい」、「前向きに健康で社会参加（ボランティア活動）を行っていきたい」などの感想が聞かれました。



(左図) 助け合い活動についてゲームを通じて体験(磐田市)



(右図) みかん収穫体験を行う壮年熟期の男性

## 成果発表・交流会

昨年度は、このプロジェクトに参加した方々が、講習・体験会で学んだ成果の発表や参加者相互の交流を目的として、2月に「成果発表・交流会」を開催しました。

当日は、講習・体験会の参加者が、講習等に参加した動機や講習等で得た成果、今後の活動目標等について、発表を行いました。また、全員が自分の言葉で、これからの夢、希望、活動したいことなどを「壮年熟期活躍宣言」として残し、参加者を代表して11名の方に発表いただきました。

交流会では、参加者一人ひとりが「やりたいこと」「やれること」を記載した名刺の交換を行い、「生まれて初めて自分の名刺を持った」「地域活動に参加して、この名刺を配りたい」など、想像以上の反響がありました。

ふじ たろう  
**富士 太郎**

〒420-8601 静岡市葵区追手町  
TEL:054(221)2442 Email:chou

(上・右) 作成した名刺

ふじのくに型人生区分		やりたいこと やれること
老年(77歳以上)	長寿を寿ぐ世代	居場所
壮年熟期(66-76歳)	経験を積み、 様々なことに	話し相手
壮年盛期(56-65歳)	熟達し、 社会で元気に	料理
壮年初期(46-55歳)	活躍する世代	車の運転

壮年熟期活躍プロジェクト



(上) 壮年熟期活躍宣言

**壮年熟期活躍プロジェクト  
修了生による新たな取組**

**御殿場市での活動**

昨年度の「壮年熟期活躍プロジェクト」修了生は、社会参加促進フェアや講習・体験会で学んだことを活かし、地域に戻って様々な形で活動を始めています。御殿場市では、講習・体験会を通じて、気軽に集まることのできる「居場所」を上げたといと感じた修了生が、居場所立上げのノウハウ等を学ぶため、「模擬居場所」を実施することにしました。

模擬居場所は、地元商店街の協力を得て3回開催しました。当日は、地元の多くの方々にご参加いただき、ともに楽しい時間を過ごしました。運営に携わった修了生たちは、自分たちでも「やれる」という自信をもつことができたことで、模擬居場所実施後、3人の参加者が、地域の公民館や空き家を利用した「居場所」を立ち上げたところ

です。居場所では、地域のお年寄りなどが気軽に立ち寄り楽しく談笑しながら時間を過ごしたり、新しい活躍の場として自分の得意なことを教える方が出てくるなど、様々な交流が生まれています。



「模擬居場所」で参加者との交流を通じ、居場所の立上げ方法について学ぶ壮年熟期活躍プロジェクトの方々



(左図) 居場所で楽しく談笑する参加者の方



(右図) 脳トレ講座を行う壮年熟期の男性

県では、今後も、壮年熟期活躍プロジェクトを継続し、壮年熟期の方々の社会活動への参加を応援します。これまでの経験を活かし、「何かしたい」と思っている皆さま、「地域に貢献したい」「仲間をつくりたい」というあなたの思いを実現するときです。まずは、お近くの会場の社会参加促進フェアに、是非ご参加ください。

〈壮年熟期活躍プロジェクトに関するお問合せ先〉

静岡県健康福祉部長寿政策課 電話:054-221-2442 FAX:054-221-2142

**施設のメンテナンスを効率良い専門車両で応援します。**

カーテン出張クリーニング



特許ランドリー車

カーペット・タイル出張丸洗い



特許出願中

ブラインド・ロールスクリーン  
出張クリーニング



株式会社三ナツ 静岡県静岡市葵区産女 1060-1

フリーダイヤル-ミナワ にハロー-  
☎ 0120-370286

fax054-295-9003

# 「ABCしあわせ基金」寄附金並びに車両贈呈式

平成29年7月21日、「ABCしあわせ基金寄附金贈呈式及び車両贈呈式」が執り行われ、株式会社ABC様（代表取締役社長 富田直樹氏）から「ABCしあわせ基金」に500万円の御寄附をいただきました。

「ABCしあわせ基金」は、今年で15年目を迎え、寄附総額は1億641万円にも及びます。

また、寄附金をもとに今年度は4団体に車両が贈られ、寄贈車両総数は累計66台（29年度含む）となりました。贈呈式では、株式会社ABC富田直樹代表取締役社長様から御挨拶をいただき、その後、富田英児代表取締役副社長様並びに県社協の神原会長から、寄贈先4団体の代表者にゴールデンキーが授与されました。

ゴールデンキーを手にした代表者からは、喜びと感謝の言葉とともに、改めて事業の熱意が述べられました。「ABCしあわせ基金」のロゴの入った車両が、県内各地で活躍しています。

## 社会福祉法人静岡県社会福祉協議会「ABCしあわせ基金」について



静岡県、山梨県、長野県、愛知県で39店舗のパチンコホールを展開している株式会社ABC様から、創業50周年の記念事業の一環として、在宅福祉活動の充実と発展を図ることを目的に寄附いただいた浄財により、平成15年に設置されたものです。以来、本会を通じて毎年社会福祉団体や民間非営利活動団体等へ車両を寄贈しています。



寄附金の授受  
右から寄附者：富田副社長、富田社長、寄附受領者：神原会長、川和田事務局長



株式会社ABC 富田直樹 代表取締役社長



富田副社長と神原会長からゴールデンキーの授与



富田社長、富田副社長、神原会長、運営委員の方々（前列）  
寄贈先4団体の方々（後列）

### 平成29年度寄贈先団体

#### 社会福祉法人「見晴学園」

事業内容：障がい者支援、障がい福祉サービス事業

寄贈車両：スズキ アルトL

#### 特定非営利活動法人「ほがらか」

事業内容：生活介護、自立訓練事業

寄贈車両：スズキ スペース

#### 特定非営利活動法人「やまっこの家」

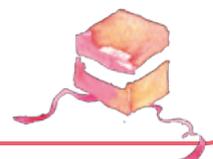
事業内容：就労継続支援、障がい者生活支援事業

寄贈車両：トヨタ シエンタ

#### 社会福祉法人「掛川市社会福祉協議会」

事業内容：地域福祉活動

寄贈車両：ダイハツ ミライース



## 静岡県社会福祉人材センター研修課主催の研修会のお知らせ

平成29年11月開催分をお知らせします。

★ラクラク申込み『WEB サービス』(会員対象)を御利用ください! →WEB サービスサイト <http://www.shizuoka-wel.jp/member/training>

研修NO	研修名	開催日	会場	対象者	内容・講師
1	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース(東部)	11/28 12/12~13	三島 商工会議所	初任者(概ね入職後1~2年 程度の職員)	・サービス提供者、チームの一員としての基本の習得 ・福祉職員が自らのキャリアデザインを描く 講師:福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程指導者
50	【新規】 心とからだに安らぎを与える "手当"セラピューティック・ケア	11/6	シズウエル	社会福祉施設・介護保険事 業所等に勤務する方	「触れること」の効果を再確認し、介護等における活用方法を学ぶ 講師:認定NPO法人 日本セラピューティック・ケア協会 認定講師 柴田 郁代 氏
48	精神疾患の理解	11/7	シズウエル	社会福祉施設・介護保険事 業所等に勤務する方	精神疾患、うつ、統合失調症などの知識を習得するとともに、症状に応じた 支援方法の基礎を学ぶ 講師:静岡県精神保健福祉士協会 会長 澤野 文彦 氏
7	福祉職場のチーム力 向上講座	11/13	シズウエル	社会福祉施設・介護保険事 業所等に勤務する方	中堅職員に求められる組織人としての役割行動や、モチベーション向上の ための知識、技能の習得 講師:日本女子大学 人間社会学部社会福祉学科 教授 久田 則夫 氏
103	「実践理論」を活用した 専門職教育法講座	11/14	シズウエル	社会福祉施設・介護保険事 業所等に勤務する方	社会福祉・対人援助専門職としての基本的な理論を初任者等へ伝え、福 祉専門職として育成する指導方法を学ぶ 講師:静岡県立短期大学部社会福祉学科 准教授 鈴木 俊文 氏
54	【新規】 車いすメンテナンス セミナー	11/16 (午前)	シズウエル	社会福祉施設・介護保険事 業所等に勤務する方	車いすを利用する方が快適に過ごせるよう、車いすの調整とメンテナンスを 学ぶ 講師:井出商会 代表 井出 容敬 氏
40	【新規】 快適なおむつの 使い方講座	11/16 (午後)	シズウエル	社会福祉施設・介護保険事 業所等に勤務する方	介護現場における紙おむつ装着に関する知識や技術の習得 講師:花王プロフェッショナル・サービス(株) 中部支社 メディカルサポートグループ マネージャー 西村 恵 氏
36	口腔のケア講座	11/20	シズウエル	社会福祉施設・介護保険事 業所等に勤務する方	高齢者や障害のある方への口腔のケアに必要な知識・技術の習得 講師:認定歯科衛生士 小宮山 ひろみ 氏、佐藤 美紀 氏

☆詳しくはホームページをご覧ください [静岡県社協 研修](#)  問い合わせ先:研修課 電話 054-271-2174

## 平成29年度「老人の日・老人週間」キャンペーン

標語:みんなで築こう 安心と活力ある健康長寿社会

### キャンペーンが目指す6つの目標

- (1)すべての高齢者が安心して自立した生活ができる、保健・福祉のまちづくりを進め、ふれあいの輪を広げよう。
- (2)高齢者の知識、経験や能力をいかした、就労・社会参加・ボランティア活動を進めよう。
- (3)高齢者の生きがい・健康づくり、介護予防への取り組みを進めよう。
- (4)高齢者の人権を尊重し、認知症高齢者への支援のあり方や介護問題等をみんなで考え、高齢者や介護者を支える取り組みを積極的に進めよう。
- (5)超高齢社会における家族や地域社会等の役割を理解し、お互いに協力して安心と活力ある長寿社会をつくろう。
- (6)減災や防災への取り組みに関心を持ち、日頃から地域でのつながりを築こう。

9月15日は「老人の日」、9月15日から21日までの1週間は「老人週間」です。



- 主催 内閣府/消防庁/厚生労働省/全国社会福祉協議会/全国老人クラブ連合会/長寿社会開発センター/日本医師会/日本歯科医師会/日本薬剤師会/日本看護協会/日本社会福祉士会/日本介護福祉士会
- 協賛 NHK/日本新聞協会/日本民間放送連盟

**YAMAHA**  
感動を・ともに・創る

私たちは、音・音楽を原点に培った技術と感性で、新たな感動と豊かな文化を世界の人々とともに創りつづけます。

ヤマハ株式会社

ありがとうございました

**県社協への寄附金**

日立グループ「親切会」中部支部様から本会(ふれあい基金)へ100,000円のご寄附をいただきました。(7月27日)

静岡県社会福祉協議会ふれあい基金  
寄附金贈呈式

左) 親切会中部支部 支部長 宮部 龍二様 右) 本会 事務局長 川和田 篤

## 賛助会員を募集しています

静岡県社会福祉協議会は、県民の皆さまや様々な機関・団体と連携し、「福祉のまちづくり」を目的とした事業を実施しています。

- ・福祉の推進に向けた意識啓発
- ・人材養成(育成)
- ・担い手確保
- ・地域福祉活動の推進
- ・権利擁護の充実
- ・情報提供
- ・福祉事業者支援
- ・災害ボランティアセンター

こうした本会の活動に賛同し、資金的な援助をしていただける賛助会員を募集しています。

◆ 会費(年額)

個人 一口/2,000円 法人・団体 一口/10,000円  
※何口でも御加入いただけます。

◆ 特典(賛助会員)

1. 機関紙「社会福祉すおか」を毎月お届けします。
2. 社会福祉に関する情報「メールマガジン」(月2回)を配信します。
3. 法人・団体会員には、県内「社会福祉施設・団体要覧」(年1回発行)をお届けします。
4. 申告により、所得税・個人住民税、法人税等の優遇措置を受けることができます。

◆ 申込みについて

入会申込書に必要事項を御記入の上、下記までお送りください。  
書類を確認後、こちらから会費のお支払等の御案内をお送りします。  
※なお、入会申込書は本会ホームページ(<http://www.shizuoka-wel.jp/>)からダウンロードすることができます。

◆ 書類送付・問い合わせ先

〒420-8670 静岡市葵区駿府町1番70号 静岡県総合社会福祉会館3ズウル  
社会福祉法人静岡県社会福祉協議会 総務課 TEL 054-254-5248 FAX 054-251-7508

## 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成29年度

# ボランティア活動保険

全国200万人  
加入!!

**保険金額**

保険金の種類	プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,320万円	1,800万円	
	後遺障害保険金	1,320万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ		
葬祭費用保険金 (特定感染症)	300万円(限度額)			
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		

**年間保険料 (1名あたり)**

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
	天災タイプ※ (基本タイプ+地震・噴火・津波)	500円	710円

http://www.fukushihoken.co.jp

※天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

**保険金をお支払いする主な例**

**ボランティア行食用保険**

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

**送迎サービス補償**

(傷害保険)

**福祉サービス総合補償**

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

**団体契約者** 社会福祉法人 **全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03(3349)5137  
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

**取扱代理店** 株式会社 **福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763  
営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)  
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJNK16-16921 2017.2.3作成)